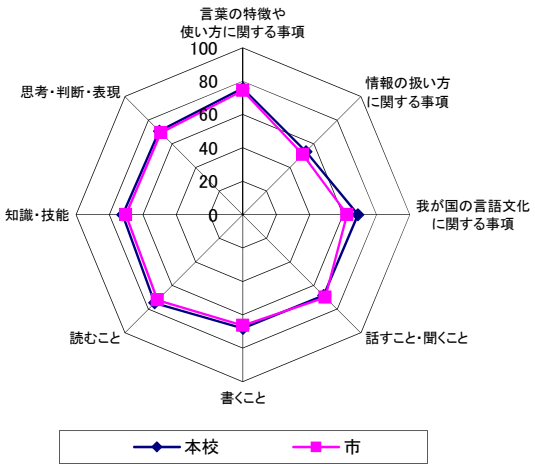
# 宇都宮市立昭和小学校 第６学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 75.7 | 74.3 | 74.8 |
| | 情報の扱い方に関する事項 | 53.4 | 50.9 | 48.4 |
| | 我が国の言語文化に関する事項 | 69.0 | 62.4 | 60.8 |
| | 話すこと･聞くこと | 68.4 | 69.9 | 69.7 |
| | 書くこと | 68.1 | 66.4 | 64.6 |
| | 読むこと | 74.7 | 72.3 | 71.0 |
| 観点別 | 知識･技能 | 72.0 | 70.1 | 70.0 |
| | 思考･判断･表現 | 70.8 | 69.5 | 68.2 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。




## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

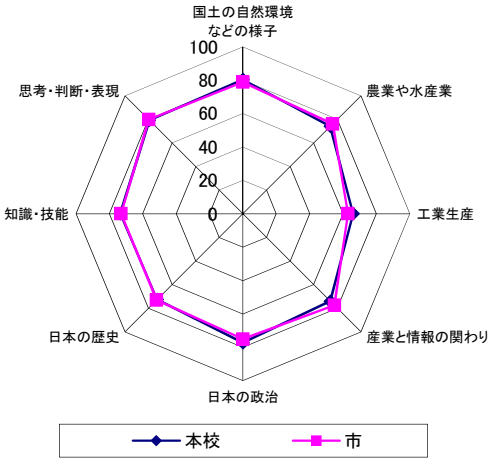
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ･本校の平均正答率は，75．7%と市の平均を1．4ポイント上回っている。<br>○「三字の熟語の成り立ちについて理解している」をねらいとした問題では，86．2%という高い正答率で，市の平均を20ポイント近く上回った。<br>●第6学年に配当されている漢字の読みと第5学年に配当されている漢字の書きをねらいとした問題では，1問を除いて市の平均を下回っている。 | ･熟語や敬語などの言葉の学習については，おおむね身に付いているが，漢字の読み書きの分野が弱く，継続的に学習をする必要がある。<br>･普段からの漢字の学習を習慣的に行うとともに，作文等で日常的に漢字を使う機会を増やしていく。 |
| 情報の扱い方に関する事項 | ･本校の平均正答率は，53．4%と市の平均を2．5ポイント上回っている。<br>○「情報と情報との関係について理解し，目的に応じて，文章を簡単に書いている」をねらいとした問題では，36．2%と高い正答率で，市の平均を10ポイント近く上回った。<br>●「情報と情報との関係について理解し，文章の情報を整理している」をねらいとした問題では，70．7%と市の平均を4．5ポイント下回った。 | ･情報と情報との関係について理解し，文章の情報を整理する力はおおむね身に付いているが，目的に応じて文章を簡単に書く力を中心に学習する必要がある。<br>･目的をもって文章を簡単に書く機会を設けることで，情報を読み取り，目的に合わせて自分の考えを書けるようにする。 |
| 我が国の言語文化に関する事項 | ･本校の平均正答率は，69．0%と市の平均を6．6ポイント上回っている。<br>○「漢字の由来について理解している」をねらいとした問題では，69．0%と市の平均を6．6ポイント上回っている。 | ･漢字の由来についてはおおむね身に付いている。引き続き，漢字学習の際に，漢字の成り立ちや意味について合わせて指導していく。 |
| 話すこと・聞くこと | ･本校の平均正答率は，68．4%と市の平均を1．5ポイント下回っている。<br>○「話し手の目的に応じて，話の内容を捉えている」をねらいとした問題では，市の平均と同等ではあるが，98．3%と高い正答率だった。<br>●「計画的に話し合い，考えを広げるための工夫を捉えている」をねらいとした問題では，81．0%の正答率で市の平均を5．1ポイント下回っている。 | ･話し手の目的に応じて，話の内容を捉えることは，おおむね身に付いているが，計画的に話し合い，考えを広げるための工夫を捉えることについて学習が必要である。<br>･話のテーマに対してグループで話し合う場を継続して設けるとともに，議題や課題に沿った意見を書かせる活動を取り入れることで，論理的な思考を育みたい。 |
| 書くこと | ･本校の平均正答率は，68．1%と市の平均を1．7ポイント上回っている。<br>○「事実を基に自分の意見を計画に書いている」をねらいとした問題では，63．8%の正答率で市の平均を2．3ポイント上回っている。<br>●「表やグラフを用いて，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している」をねらいとした問題では，86．2%と市の平均を4．6ポイント下回っている。 | ･資料の活用や事実関係を文章に書くことはおおむね身に付いているが，表やグラフを用いて，自分の考えが伝わるように書く力について学習する必要がある。<br>･自分の考えや意見について，表やグラフを用いて説得力を付けて説明するような学習を重点的に行う。 |
| 読むこと | ･本校の平均正答率は，74．7%と市の平均を2．4ポイント上回っている。<br>○物語文の，描写を基に登場人物の心情を読み取る問題の正答率は91．4%，説明文の，文章の論の進め方を捉える問題では70．7%で，市の平均を上回っている。<br>●物語文の，全体を把握して自分の考えを広げる問題の正答率は63．8%で市の平均を下回った。説明文全体の構成を捉える問題では，市の平均は上回ったが，55．2%と高い正答率とはいえない結果だった。 | ･物語全体を見通すことができるようにするために，情景描写から心情を表す叙述を抜き出したり，なぜそのような心情だと考えたのか，根拠となる描写を探したりする学習に取り組めるようにする。<br>･説明文に書かれている情報を正確に読み取ることができるように，段落ごとの重要な言葉を見付け要約したり，文章の構成を整理したりする学習に取り組んでいく。 |

# 宇都宮市立昭和小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 国土の自然環境などの様子 | 80.3 | 78.9 | 75.4 |
| | 農業や水産業 | 74.1 | 76.1 | 71.2 |
| | 工業生産 | 66.1 | 62.9 | 59.4 |
| | 産業と情報の関わり | 74.1 | 77.6 | 59.7 |
| | 日本の政治 | 77.2 | 75.0 | 79.3 |
| | 日本の歴史 | 72.6 | 73.1 | 72.8 |
| 観点別 | 知識・技能 | 73.5 | 73.0 | 71.4 |
| | 思考・判断・表現 | 79.3 | 79.8 | 71.9 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。




## ★指導の工夫と改善

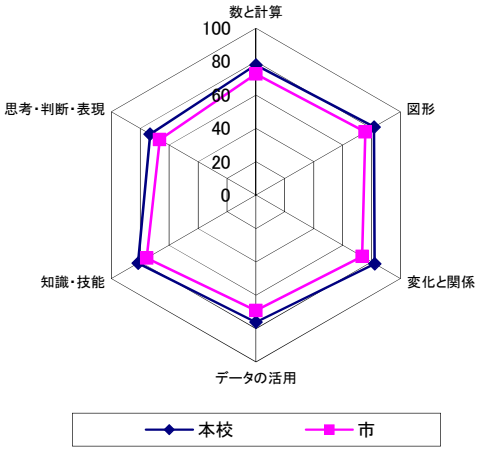
○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 国土の自然環境などの様子 | ・平均正答率は80．6%で，市の平均を1．4ポイント上回っている。<br>○日本周辺の海洋名を答える問題の平均正答率は，91．4%と高く，市の平均を4．1ポイント上回っており，身に付いていると言える。<br>●日本の主な地形の名称と位置の理解については，41．4%と低く，市の平均を8．3ポイント下回っている。 | ・我が国土の位置の様子や周辺の国，海洋名など，地図やグラフ等で復習していくとともに，資料からどんなことが読み取れるか考えさせ，学習の充実を図っていく。<br>・国内の地理についての理解を深めるため，地図帳や白地図，AI型学習ドリル等を用いて，繰り返し学習する機会を増やして定着を図る。 |
| 農業や水産業 | ・平均正答率は74．1%で，市の平均を2ポイント下回っている。<br>●都道府県の位置の理解をもとに，米の生産量について白地図にまとめる問題の平均正答率は56．9%で，市の平均を4．8ポイント下回っている。<br>●漁業や農業について資料を読み取ったり判断したりする問題の平均正答率は，80%を超えているものの，市の平均を約0．5ポイント下回っている。 | ・都道府県の名称や位置については，第4学年で都道府県の学習を行っているが，それだけでは不十分なので，日本の地理や産業等の学習を進めるにあたって，適宜地図で確認するようにし，理解の定着を図る。<br>・複数のグラフや資料から自分の考えをまとめたり，必要な資料を選択したりする等の学習を通して，社会的思考力を高めていく。 |
| 工業生産 | ・平均正答率は66．1%で，市の平均を3．2ポイン上回っている。<br>○自動車工場の生産工程について答える問題の平均正答率は74．1%で市の平均を3．2ポイント上回っている。<br>○大工場と中小工場の理解をもとに資料を読み取る問題の平均正答率は58．6%と低かったが，市の平均を5．8ポイント上回っている。 | ・自動車の生産工程や運搬などの様子をデジタル教材を活用して理解を深めてきた。今後も実際に見学に行ったり，デジタル教材を活用したりして，興味・関心をもたせ，知識を定着させていきたい。<br>・日本の工業生産について，資料を参考にして特色を考察したり，大工場と中小工場の違いを読み取ったりし，資料活用の技能を高めていく。 |
| 産業と情報の関わり | ・平均正答率は74．1%で，市の平均を3．5ポイント下回っている。<br>○インターネットを利用するときの注意点について答える問題の平均正答率は89．7%と高く，市の平均を0．8ポイント上回っている。<br>●資料に着目して，コンビニエンスストアのポイントカードの利点を考え表現する問題の平均正答率は58．6%と低く，市の平均を7．6ポイント下回っている。 | ・情報の伝え方とメディアの関連について触れ，興味関心をもたせた上で，種類について学習するとともに，社会の授業だけでなく，様々な学習を通して，情報化社会の有益性と危険性を十分理解できるようにする。<br>・身近なコンビニエンスストアの仕組みについて興味をもたせ，ポイントカードのデータが店舗，本部にどのように活用されるか等，情報ネットワークの理解や思考を深められるようにする。 |
| 日本の政治 | ・平均正答率は77．2%で，市の平均を2．2ポイント上回っている。<br>○国会や裁判所の仕組みや資料を読み取る問題の平均正答率は79．3%，82．8%で，市の平均をそれぞれ，8．1ポイント，3．2ポイント上回っている。<br>●日本国憲法の三原則や非核三原則についての問題の平均正答率は69%，77．6%で，市の平均をそれぞれ，0．4，2．3ポイント下回っている。 | ・国会や裁判所の仕組みはほぼ理解しているが，今後も，学習に関連した内容のテレビや新聞等の話題を適宜児童に分かりやすく紹介したり，資料を掲示したりして，児童が興味をもって取り組めるような授業の展開を図っていく。<br>・日本国憲法の三原則や非核三原則について復習するとともに，名称と内容についての理解を深めていく。 |
| 日本の歴史 | ・平均正答率は72．6%で，市の平均を0．5ポイント下回っている。<br>○弥生時代，飛鳥時代の問題の平均正答率は86．2%，65．5%で，市の平均をそれぞれ，8．1ポイント，6．7ポイント上回っている。<br>●江戸時代の武家諸法度についての問題の平均正答率は51．7%と低く，市の平均を2．7ポイント下回っている。 | ・歴史的事象の名称や内容についての理解は図られているが，その意図や目的についてまで理解が不十分である。単に名称を覚えるだけでなく，その他の歴史的事象の関連や時代背景等についても調べる機会を設け，理解を深めていく。<br>・歴史の理解度に二極化がみられるので，歴史に興味・関心がもてるような指導や学習環境づくりを工夫する。 |

# 宇都宮市立昭和小学校 第６学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 数と計算 | 78.0 | 72.6 | 73.1 |
| | 図形 | 81.7 | 75.7 | 74.7 |
| | 変化と関係 | 82.2 | 73.6 | 66.1 |
| | データの活用 | 76.1 | 69.2 | 70.7 |
| | | | | |
| | | | | |
| 観点別 | 知識・技能 | 81.5 | 75.5 | 74.4 |
| | 思考・判断・表現 | 73.2 | 66.5 | 67.2 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |




※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）

## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

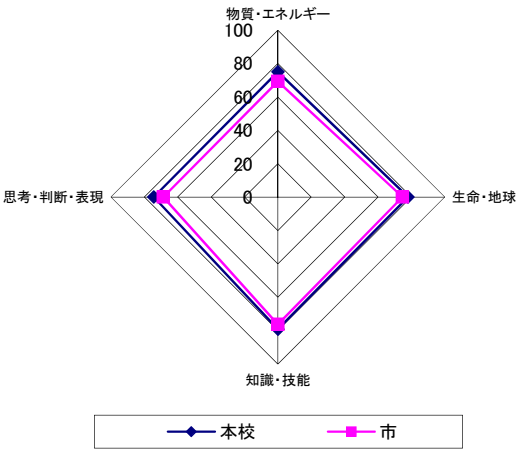
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 数と計算 | ・平均正答率は78．0%で，市の平均を5．4ポイント上回っている。<br>○小数や分数の乗法や除法，分数の加法，乗法，除法の計算の正答率は，いずれも80%を超えて，よく身に付いていると言える。<br>○文字を使った式が表す場面を選ぶ問題の平均正答率は81%で，市の平均を8ポイント上回っている。<br>●1より小さい分数をかける乗法の問題場面を理解して数量の関係を直線に表す問題の正答率は，市の平均を1ポイント上回っているものの，65．5%と低かった。 | ・小数や分数の四則計算等は，少人数指導やドリル等での繰り返しの学習で，技能が着実に身に付いてきているので，さらに計算の技能を高められるように，繰り返し学習し，定着を図っていく。<br>・文字式は中学校の学習につながっていくので，練習問題を数多く解くなど復習の機会を多く設けるようにし，今後の学習を積み重ねていけるような基礎として定着させたい。<br>・文章題を読んで立式する際には，数直線や図を活用し，何を求めようとしているのかを明確にした上で立式する指導を継続して行う。 |
| 図形 | ・平均正答率は81．7%で，市の平均を6ポイント上回っている。<br>○面積や体積を求める問題では，平均正答率が75．9%，87．9%で，市の平均をそれぞれ，7．3ポイント，6．5ポイント上回っている。<br>○対称な図形において，点対称の図形の問題の平均正答率は86．2%と市の平均を7．6ポイント上回っているが，線対称な図形の対応する点を見つける問題の平均正答率は市の平均を4．5ポイント上回っているものの，53．4%と低かった。<br>●三角柱の展開図を組み立てたときに重なる頂点を求める問題の平均正答率は86．2%と高かったが，市の平均より2．2ポイント低い。 | ・面積や体積では，実物で量感を感じたり操作したりしながら公式を求める学習を進めてきたので，よく理解していると言える。今後も，操作的な学習を進めて公式を導き出させ，理解を確実にしていきたい。<br>・対称な図形でも,具体物を測定したり操作したりする活動を取り入れながら,図形についての理解を進めてきた。今後も生活場面で，様々な図形や，図形を見る感覚等を養っていきたい。<br>・展開図から重なる頂点を求める問題では，実際にいろいろな立体を作成し，組み立てる操作活動を多く取り入れて学習を進めることで，図形の見方を深め，実感できるように工夫していく。 |
| 変化と関係 | ・平均正答率は82．2%で，領域の中で最も高く，市の平均を8．6ポイント上回っており，よく身に付いていると言える。<br>○表から面積と人口の割合を求め，どの公園が最も混んでいるかを考察する問題の平均正答率は87．9%と高く，市の平均を14．6ポイント上回っている。<br>○速さの単位と関係を理解し，分速を秒速や時速に直す問題の平均正答率は65．5%とやや低かったが，市の平均を8．6ポイント上回っている。 | ・割合については，公式を理解するとともに，問題文で何を求めているかを考えさせていくことが大切である。また，割合の考え方は，日常生活の様々な場面で使用するので，実際の場面を通して理解を深め，定着化を図っていきたい。<br>・速さについては単なる公式の暗記ではなく，どのように速さの公式が導かれるのかを考える学習を取り入れてきた。今後も算数の授業において，実感を伴った理解が得られるような指導の工夫を続けていきたい。 |
| データの活用 | ・平均正答率は76．1%で，市の平均を6．9ポイント上回っており，ほぼ身に付いていると言える。<br>○ドットプロットから最頻値を読み取ったり，度数分布表を完成したりする問題の平均正答率は90%以上と高く，市の平均を5ポイント以上上回っている。<br>○代表値を用いて記録がクラスの半分より高い記録なのかどうかを説明する問題の平均正答率は，市の平均を8．1ポイント上回っているものの，37．9%と低かった。 | ・ドットプロットや度数分布表については，授業において，見方や特徴等を繰り返し指導してきたので，よく身に付いていると言える。今後も継続して繰り返し指導にあたっていきたい。<br>・説明する問題を少し苦手としている児童も多い。問題文を実際の場面に置き換えてイメージし，問われている内容をつかみ，考えたことや回答を導いていく過程を言語化したり数直線や図に表したりする学習を多く取り入れ，表現する力を養っていきたい。 |
| | | |
| | | |

# 宇都宮市立昭和小学校 第６学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 物質・エネルギー | 75.1 | 69.3 | 65.7 |
| | 生命・地球 | 78.0 | 74.7 | 77.8 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 観点別 | 知識・技能 | 79.2 | 76.2 | 76.4 |
| | 思考・判断・表現 | 74.4 | 68.7 | 68.6 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。




## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 物質・エネルギー | ・本校の平均正答率は，75．1%と市の平均を5．8ポイント上回っている。<br>○「ろ過のしかたで，正しくないところを指摘できる」をねらいとした問題では，82．8%と市の平均を18．6ポイント大きく上回っている。<br>●「コイルの巻き数の多い電磁石が，強い磁界を生じることを理解している」をねらいとした問題では，正答率は89．7%と高いが，市の平均をわずかに下回っている。 | ・学習した内容を日常生活の物質に置き換えたり，具体的な出来事との関連を考えたりして，事象の仕組みや関係を考えるようにする力を育成していく。<br>・実験の道具の使い方や流れ，方法などを繰り返し確認しながら実験する。 |
| 生命・地球 | ・本校の平均正答率は，78．0%と市の平均を3．3ポイント上回っている。<br>○呼吸のはたらきにより空気と呼気とで成分がどのように変わるかを理解している」をねらいとした問題では，79．3%と高い正答率で，市の平均を11．3%上回っている。<br>●植物のつくりとはたらきで対照実験を行う理由を推測する問題では，正答率が67．2%と市の平均を5．7ポイント下回っている。 | ・「植物のつくりとはたらき」において，対照実験やでんぷんを確認する方法の知識を十分身に付けられるよう，デジタル教材等を活用し，理解を深めていく。<br>・授業において，ミニテストを行いながら学習内容を確認し，基本的な知識の定着を図っていくと同時に，自然や生活の中の事象について，自分で考えたり文章で表現したりする時間を取り入れ，思考力の育成に努める。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

# 宇都宮市立昭和小学校
# 学力向上に向けた学校全体での取組

**★学校全体で，重点を置いて取り組んでいること**

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|---|---|---|
| ・協働する力を育てる学び合い活動の充実 | ねらいを達成させるための適切な学習形態の選択を工夫したり，学び合い活動を充実させたりすることにより，協働する力を育てる。 | 「グループなどの話合いに自分から進んで参加している」の肯定的回答が84．2%と市の平均を3．6ポイント上回った。また，4～6年への質問である，「自分の考えを根拠（理由）をあげながら話すことができる」の肯定的回答が74．4%となっており，市の平均より8．3ポイント上回っている。 |
| ・自己肯定感の向上 | ふり返りの学習活動における自己評価や相互評価を工夫し，児童自らのよさへの自覚を深められるようにする。 | 「自分によい所がある」また「自分のよさを人のために生かしたいと思う」に対する肯定的回答が85．3%，市の平均は84．9%と同程度だった。また，「わかること，できることはうれしい」に対する肯定的回答が93．7%，市の平均は94．4%と同程度だった。 |

**★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性**

各学年とも，意欲的に学習に取り組み，ねらいを達成するために協働的な学び合い活動に積極的に取り組む様子がうかがえる。今後もねらい達成のための適切な学習形態を選択した授業を行っていくとともに，方法や内容の充実を図っていく。

国・県の結果を踏まえ，「条件を提示してそれに即した文章を書く意図的に書く力」が十分身に付いていないことがうかがえる。次年度は学年・発達段階に応じて，文章の構成や言葉の選択などを意識した書く活動を重視していく。また，まとめや振り返りの場面で，設定したキーワードを使って文章を書いたり，書かれたものを紹介したりして，書く活動を充実させていく。